（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所　day's			
○保護者評価実施期間	令和　7　年　11月　25日	～	令和　7　年　12月　19日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	13	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	令和　7　年　11月　25日	～	令和　7　年　12月　12日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	10
○事業者向け自己評価表作成日	令和　7年　12月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の必要としている支援について、毎朝ミーティング、支援後の振り返りを職員で行う。職員で共有できるよう個人記録に記載し、支援方法に役立つ記録を残している。	各児童の様子、変化にどの職員も気づけるよう、普段からのミーティングを行っている。	非常勤の職員に対して、出社した時に確認してもらったり、緊急の場合は、別途知らせる手段を増やしていく。
2	保護者さまの意見、お困り事をお聞きし、なるべく迅速に対応できるようにしている。	月１回、事務所に来所いただき、達成できている事、ご家庭での日頃の様子など、相談の機会を設けている。ペアレントトレーニングの資格者が中心となって保護者さまの支援に繋がるようお話を聞く機会を作っている。	利用されている保護者さまに伝わっていない事もあるようなので、再度皆さまに伝わるようホームページ・SNSの更新を行う。
3	児童の必要としている活動プログラムを作成している。	偏りのないプログラムを作成している。 個別支援計画の読み合わせや、計画書を見やすくはりだしている。	モニタリングを行い、保護者さまに対しては月1回の面談で活動の様子をお話はしているが、連絡帳等で各個人に対して個別支援計画に沿っての連絡もできるよう改善する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通信・ホームページ・SNS等の発信が保護者に行き渡っていない。	ホームページ・SNSの更新が滞っている場合がある為、新しい情報を更新しなければならないと考える。	保護者さまの知りたい情報・必要な情報・お伝えの仕方を検討、実行していく。
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会が少ない。	利用している児童が保育園や幼稚園等へ通園している為、機会を作る事が難しい。	こども園・保育園・幼稚園・同じ発達支援に通うこどもとの交流を増やすよう、声掛け・活動への参加を行っていく。
3			